

様式3 指定管理業務 事業評価書（市及び指定管理者作成）

令和4年度 指定管理業務 事業評価書

施設名	幸手市障害者自立支援施設
施設所管課	健康福祉部 社会福祉課（内線 709 ）
指定管理者名	社会福祉法人幸手市社会福祉協議会
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日（2年目）

評価項目		評価基準	自己評価	所管課評価
I 履行の 確認	1 施設全般管理運営に関する業務			
	(1)職員体制	基準に基づき、適正な人員配置がなされたか	3	3
	(2)職員研修	業務に必要な研修・教育が適切に行われたか	3	3
	(3)利用の促進	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか	-	-
	2 施設利用に関する業務			
	(1)利用状況	利用者数・稼働率等は、適正な水準であるか ※1	3	3
	(2)利用料金	利用料金の設定、徴収・減免・還付の手続きは適切であるか	-	-
	3 保守点検並びに清掃等業務等			
	(1)保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか	3	3
	(2)清掃・維持管理業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理業務が適切に行われたか	3	3
	(3)保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか	3	3
	(4)修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか	3	3
	4 事業の実施に関する業務			
	(1)指定業務	基準に基づく指定業務が適切に行われたか	3	3
	(2)自主事業	基準に基づく自主事業が適切に行われたか	3	3
	5 個人情報の取扱い	個人情報の取り扱いが適正に行われたか	3	3
	6 管理目標	設定目標に対する結果は妥当であるか ※2	3	3
	7 緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されているか 緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っているか	3	3
	8 その他			
	(1)記録管理	業務日誌や点検・修繕等の履歴を適切に整備・保管しているか	3	3
	(2)経理	経理処理が適切に行われたか	3	3
	(3)意思疎通	市や関係機関との連携が適正に行われているか	3	3

評価項目		評価基準	自己評価	所管課評価
Ⅱサービスの質の評価	1 利用者満足度	利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか	-	-
	2 維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理は適正であるか 備品などの設備の維持管理は適正であるか	3	3
	3 運営業務	備品の貸出状況や消耗品等の補充状況は適切であるか 利用許可など利用者への接客対応は適切であるか	3	3
	4 指定事業・自主事業			
	(1) 指定事業	実施された事業内容は、質の高いものであったか	3	3
	(2) 自主事業	実施された事業内容は、質の高いものであったか	3	3

評価項目		評価基準	自己評価	所管課評価
Ⅲ安定性の評価	1 事業収支	事業収支は妥当であるか ※3	3	3
	2 経営状況分析指標	経営状況分析指標の結果は妥当であるか ※4	3	3
	3 団体等の経営状況	団体等の経営状況分析指標の結果は妥当であるか ※5	3	3
合計得点		Ⅰ・Ⅱ・Ⅲの評価点数の合計(得点/満点)	66 88	66 88

総括	指定管理者の自己評価	・個々の利用者の特性に配慮した個別支援計画を作成し、適正な支援ができた。 ・就労継続支援B型の基本となる作業については、利用者の特性に応じた作業種を提供できた。また、施設外就労(公衆トイレ清掃)は、年度途中で清掃していたトイレが閉鎖となったが、今年度開設した2号公園のトイレ清掃を受注することができ、利用者の就労機会の提供、工賃向上につながった。埼玉県県の平均工賃を上回る金額となった。 ・宿泊研修は、新型コロナウイルス感染症防止の観点から、中止とし代替え行事として施設内で昼食会を実施した。工場見学は、利用者・保護者に意向確認を実施し、19名中17名の希望者が所外研修に参加した。利用者にとっては、通所や就労への意欲向上につながった。なのはなの里の所外活動は、利用者の特性を考慮し、2回に分けて実施した。 ・両施設ともに、所内において季節感を味わえる行事を実施した。なのはなの里では、小グループで施設車両を利用した花見ドライブを実施した。 ・新型コロナウイルス感染症防止については、施設内に飛沫防止シートの設置し、始業前に施設内の消毒を行った。利用者、職員については、検温やマスクの着用や手指消毒等徹底し、感染防止に努めた。利用者、職員及び同居家族の発熱が見られた場合は、埼玉県及び幸手市、社会福祉協議会の対応方針に基づいて、施設への出勤を自粛するなど、慎重に健康観察に努めた。また、通所が困難になった利用者には、在宅でできる限りの支援を行った。 ・利用者のワクチン接種の希望者については、幸手市の担当課と協議し、集団接種できるように調整した。 ・施設内の樹木の剪定や消毒、軽微な修繕は職員で行い、経費の削減に努めた。
	施設所管課の評価	・研修により職員の資質向上を図り、障がいの特性やニーズに応じた支援の提供に努めた。 ・基本的な作業については継続的に行い、施設外就労については新たな業務を受注することができ、利用者の就業機会の確保に努めた。また、適切な就労支援により、継続的に県の平均工賃を上回っている。 ・「幸手市障害者自立支援施設における新型コロナウイルスへの対応方針」に則り、利用者が安全・安心して施設を利用することができるように、新型コロナウイルス感染症対策に取り組んだ。

総合評価	区分	A
	特記事項	

様式3 指定管理業務 事業評価書（市及び指定管理者作成）

令和4年度 指定管理業務 事業評価書

施設名	幸手市営釣場 神扇池
施設所管課	建設経済部 商工観光課（内線592）
指定管理者名	サンワックス・都市管理サービス共同事業体（報告：代表企業（株）サンワックス）
指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日（3期4年目 ※通算14年目）

評価項目		評価基準	自己評価	所管課評価
I 履行の 確認	1 施設全般管理運営に関する業務			
	(1)職員体制	基準に基づき、適正な人員配置がなされたか	3	3
	(2)職員研修	業務に必要な研修・教育が適切に行われたか	3	3
	(3)利用の促進	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか	3	3
	2 施設利用に関する業務			
	(1)利用状況	利用者数・稼働率等は、適正な水準であるか ※1	3	3
	(2)利用料金	利用料金の設定、徴収・減免・還付の手続きは適切であるか	3	3
	3 保守点検並びに清掃等業務等			
	(1)保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか	3	3
	(2)清掃・維持管理業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理業務が適切に行われたか	3	3
	(3)保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか	3	3
	(4)修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか	3	3
	4 事業の実施に関する業務			
	(1)指定事業	基準に基づく指定事業が適切に行われたか	3	3
	(2)自主事業	基準に基づく自主事業が適切に行われたか	3	3
	5 個人情報の取扱い	個人情報の取り扱いが適正に行われたか	3	3
	6 管理目標	設定目標に対する結果は妥当であるか ※2		
	7 緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されているか 緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っているか	3	3
	8 その他			
	(1)記録管理	業務日誌や点検・修繕等の履歴を適切に整備・保管しているか	3	3
	(2)経理	経理処理が適切に行われたか	3	3
	(3)意思疎通	市や関係機関との連携が適正に行われているか	3	3

評価項目		評価基準	自己評価	所管課評価
Ⅱサービスの質の評価	1 利用者満足度	利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか	3	3
	2 維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理は適正であるか 備品などの設備の維持管理は適正であるか	3	3
	3 運営業務	備品の貸出状況や消耗品等の補充状況は適切であるか 利用許可など利用者への接客対応は適切であるか	3	3
	4 指定事業・自主事業			
	(1) 指定事業	実施された事業内容は、質の高いものであったか	3	3
	(2) 自主事業	実施された事業内容は、質の高いものであったか	3	4

評価項目		評価基準	自己評価	所管課評価
Ⅲ安定性の評価	1 事業収支	事業収支は妥当であるか ※3	3	3
	2 経営状況分析指標	経営状況分析指標の結果は妥当であるか ※4	3	3
	3 団体等の経営状況	団体等の経営状況分析指標の結果は妥当であるか ※5	4	3
合計得点		Ⅰ・Ⅱ・Ⅲの評価点数の合計(得点/満点)	73 96	73 96

総括	指定管理者の自己評価	R4年度、代表団体(株)サンワックスとしては、再々指定後3期目・4年目(通算14年目)の運営となりました。共同事業体の強みを活かし、(株)サンワックスは施設運営全般、大会・イベント等の企画開催を担い、構成企業の都市管理サービス(株)は維持管理全般を担い、施設修繕等の対応も臨機に行い、利用環境の整備に務めました。 昨年に続き新型コロナウイルス感染防止対策を徹底して衛生環境に配慮した営業に努めました。昨年3月にまん延防止等重点措置が解除されたものの、年間を通じて利用者の減少傾向が続き、R4年度の入場者数は、前年度 27,757人に対して 26,182人(-1,575人減)、入場料収入は、前年度 32,574千円に対し、29,802千円(-2,772千円減)となり、利用料収入の確保と管理経費の捻出が困難な状況にありました。 お客様に安全に施設を利用いただくため、9月末日までは入場者情報の記録を行い、大会・イベント等においては規模の縮小、ソーシャルディスタンスの確保など、新型コロナウイルス感染防止対策を徹底しました。 そのような状況のなかでも神扇池ファンや初めてご来場された皆様にも満足していただけるよう、7月よりツイッターでの情報発信を開始する等、新しいサービスの提供にも取り組んでまいりました。
	施設所管課の評価	新型コロナウイルス感染症防止対策による規制が緩和されイベント等の実施が再開されつつあります。しかしながら、集客面においては、未だコロナ禍の影響を受けており、コロナ禍前の水準には戻ってはいません。そのような中でも感染防止対策を施しながら、積極的な自主事業を展開し、SNSを活用して、情報発信をする等、入場者数の向上を図っていることが伺えました。 協定の基準を遵守し、利用者及び職員の安全も徹底しながら良好に管理運営され、天候により職員配置人数を変更するなど、柔軟に対応していました。 集客数がコロナ禍前の水準まで戻るのには、相当の時間と努力を要しますが、通算15年目となる管理・運営のノウハウにより、日々変化する利用者のニーズに柔軟に対応しつつ、笑顔あふれるレクリエーション施設として、さらなる公共の福祉の増進と、地域活性化に取り組んでいただきたい。

総合評価	区分	A
	特記事項	

様式3 指定管理業務 事業評価書（市及び指定管理者作成）

令和4年度 指定管理業務 事業評価書

施設名	幸手市立図書館外1施設
施設所管課	教育委員会 社会教育課
指定管理者名	株式会社 図書館流通センター
指定期間	令和2年4月1日～令和7年3月31日（3年目）

評価項目		評価基準	自己評価	所管課評価
I 履行の 確認	1 施設全般管理運営に関する業務			
	(1)職員体制	基準に基づき、適正な人員配置がなされたか	3	3
	(2)職員研修	業務に必要な研修・教育が適切に行われたか	3	3
	(3)利用の促進	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか	4	4
	2 施設利用に関する業務			
	(1)利用状況	利用者数・稼働率等は、適正な水準であるか ※1	3	3
	(2)利用料金	利用料金の設定、徴収・減免・還付の手続きは適切であるか	-	-
	3 保守点検並びに清掃等業務等			
	(1)保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか	3	3
	(2)清掃・維持管理業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理業務が適切に行われたか	3	3
	(3)保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか	3	3
	(4)修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか	3	3
	4 事業の実施に関する業務			
	(1)指定事業	基準に基づく指定事業が適切に行われたか	3	3
	(2)自主事業	基準に基づく自主事業が適切に行われたか	3	3
	5 個人情報の取扱い	個人情報の取り扱いが適正に行われたか	3	3
	6 管理目標	設定目標に対する結果は妥当であるか ※2	3	3
	7 緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されているか 緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っているか	3	3
	8 その他			
	(1)記録管理	業務日誌や点検・修繕等の履歴を適切に整備・保管しているか	3	3
	(2)経理	経理処理が適切に行われたか	3	3
	(3)意思疎通	市や関係機関との連携が適正に行われているか	3	3

評価項目		評価基準	自己評価	所管課評価
Ⅱ サービスの質の評価	1 利用者満足度	利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか	3	3
	2 維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理は適正であるか 備品などの設備の維持管理は適正であるか	3	3
	3 運営業務	備品の貸出状況や消耗品等の補充状況は適切であるか 利用許可など利用者への接客対応は適切であるか	3	3
	4 指定事業・自主事業			
	(1) 指定事業	実施された事業内容は、質の高いものであったか	3	3
	(2) 自主事業	実施された事業内容は、質の高いものであったか	3	3

評価項目		評価基準	自己評価	所管課評価
Ⅲ 安定性の評価	1 事業収支	事業収支は妥当であるか ※3	3	3
	2 経営状況分析指標	経営状況分析指標の結果は妥当であるか ※4	3	3
	3 団体等の経営状況	団体等の経営状況分析指標の結果は妥当であるか ※5	3	3
合計得点		I・Ⅱ・Ⅲの評価点数の合計(得点/満点)	73 96	73 96

総括	指定管理者の自己評価	幸手市立図書館の条例・規則に基づけば、休館日は、月曜日、国民の祝日となっておりますが、幸手市を思う職員の努力、そして、市役所の理解と協力で、月曜日のみの休館日となっております。 なお、休館日の月曜日でも、毎月第4月曜日には、職員全員が、原則、出勤してミーティング及び次の月への準備を担当者ごとグループになり、準備を進める体制となっております。 また、昨年10月からは、時間有給制度も会社として導入したので、休みが、少しずつ取りやすい状況になっています。さらに、昨年の埼玉県民の日は、月曜日であったが、県の要望を受け、前後日の休館日を設けず、開館をしました。
	施設所管課の評価	協定書に基づく図書館業務については、適切に実施したと評価する。また、本来は休館日である祝日に開館することは、利便性が高まり利用促進になると評価する。 利用者アンケート集計結果の総合評価における満足及びおおむね満足の割合は高く、今後も研修等を通じて職員のレベルアップに努め、社会教育施設として市民サービスの向上や、安全で快適な読書空間の維持に努めるよう期待している。

総合評価	区分	A
	特記事項	

幸手市民:指定管理業務 事業評価書（市及び指定管理者作成）

令和4年度 指定管理業務 事業評価書

施設名	幸手市民文化体育館(アスカル幸手)
施設所管課	教育委員会 社会教育課
指定管理者名	NEM/NTTファシリティーズ共同事業体
指定期間	平成31年4月1日 ～ 令和6年3月31日（4年目）

評価項目		評価基準	自己評価	所管課評価
I 履行の 確認	1 施設全般管理運営に関する業務			
	(1)職員体制	基準に基づき、適正な人員配置がなされたか	3	3
	(2)職員研修	業務に必要な研修・教育が適切に行われたか	3	3
	(3)利用の促進	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか	4	3
	2 施設利用に関する業務			
	(1)利用状況	利用者数・稼働率等は、適正な水準であるか ※1	3	3
	(2)利用料金	利用料金の設定、徴収・減免・還付の手続きは適切であるか	3	3
	3 保守点検並びに清掃等業務等			
	(1)保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか	3	3
	(2)清掃・維持管理業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理業務が適切に行われたか	3	3
	(3)保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか	3	3
	(4)修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか	3	3
	4 事業の実施に関する業務			
	(1)指定業務	基準に基づく指定業務が適切に行われたか	4	3
	(2)自主事業	基準に基づく自主事業が適切に行われたか	3	3
	5 個人情報の取扱い	個人情報の取り扱いが適正に行われたか	3	3
	6 管理目標	設定目標に対する結果は妥当であるか ※2	3	3
	7 緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されているか 緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っているか	3	3
	8 その他			
	(1)記録管理	業務日誌や点検・修繕等の履歴を適切に整備・保管しているか	3	3
	(2)経理	経理処理が適切に行われたか	3	3
	(3)意思疎通	市や関係機関との連携が適正に行われているか	3	3

評価項目		評価基準	自 己 評 価	所管課 評 価
Ⅱ サ ー ビ ス の 質 の 評 価	1 利用者満足度	利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか	4	3
	2 維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理は適正であるか 備品などの設備の維持管理は適正であるか	3	3
	3 運営業務	備品の貸出状況や消耗品等の補充状況は適切であるか 利用許可など利用者への接客対応は適切であるか	3	3
	4 指定事業・自主事業			
	(1)指定事業	実施された事業内容は、質の高いものであったか	4	3
	(2)自主事業	実施された事業内容は、質の高いものであったか	4	4

評価項目		評価基準	自 己 評 価	所管課 評 価
Ⅲ 安 定 性 の 評 価	1 事業収支	事業収支は妥当であるか ※3	3	3
	2 経営状況分析指標	経営状況分析指標の結果は妥当であるか ※4	3	3
	3 団体等の経営状況	団体等の経営状況分析指標の結果は妥当であるか ※5	3	3
合計得点		I・Ⅱ・Ⅲの評価点数の合計(得点／満点)	80 100	76 100

総括	指定管理者の自己評価	○総評 令和4年度は1年を通して、新型コロナウイルス感染症の影響による利用制限を受けない形での運営となったため、コロナ禍により落ち込んだ利用の回復に向けて運営に取り組んだ。 利用状況について、利用人数は、152,137人で対前年差12,102人増加し、利用料金は31,591,870円で対前年差6,977,740円の大幅な増加となり、人数及び料金ともに対前年差で増加となった。特に利用料金については、サブアリーナが9月まで市のワクチン接種会場となったことが大きく貢献した。利用が回復傾向にある中、一方で物価変動に伴う光熱水費の上昇により、光熱水費は33,550,448円となり、対前年差9,308,979円の大幅な増加となった。また、事業費についても24,880,710円で前年差7,522,685円の大幅な増加となった。事業費については、コロナ禍で実施が難しかったホール公演を4事業、市内学校へプロスポーツ選手を派遣するスポーツイベントを3つ実施したことが要因としてある。 こうした結果、収支は総収入が141,229,467円となり、総支出は165,614,120円となり24,384,653円の損失を計上した。 本年度力を入れた事業面においては、市内の小中高等学校の方々にも協力いただき、コロナ禍後の活動を後押しできるような事業をおこなった。具体的には、市内小学校に協力いただき、東京オリンピック女子日本代表の高田真紀選手を吉田小学校へ招聘し講演とバスケットクリニックを開催したほか、八代小学校においてもSEIKOわくわくスポーツ教室を開催しオリンピック元陸上競技選手福島千里さんを招聘した特別教室を実施した。また、日本体育大学バドミントン部をアスカル幸手へ招聘したバドミントンセミナーを実施し幸手中と幸手西中バドミントン部にご参加いただいた。ホール公演では、幸手中学校、幸手西中学校、幸手東中学校、幸手桜高校吹奏楽部による合同演奏祭「幸手市学生演奏祭」の実施や、若者に人気のダンスをテーマとした「幸手DANCEDAY(さってだんすでい)」を開催し好評を得た。また、市民とともに作り上げる「幸手市民音楽祭～第九コンサート」も3年ぶりに実施し、945名の方に参加いただいた。 最後に、本年度はコロナ禍からの回復に向けて取り組んだ一年であったがワクチン接種会場化による収入の増加や光熱費の高騰による支出の増加など外的要因も多く、運営における取り組みの結果が見えにくい1年であったと考える。次年度以降も光熱費の高騰などは続くと考えるが、引き続き利用者の回復に向けて取り組んで行くと同時に経費の縮減にも取り組み、収支の改善を図りたい。 ○事業評価4の理由 ・Ⅰ1(3)利用の促進・・・HPやfacebook、公式LINEを活用し積極的に情報発信を行ったほか、トレーニング室の回復に向けて、暗闇ズンバや特別プログラムを企画し実施したため。 Ⅱ1利用者満足度・・・本年度も施設の総合的な満足度で93.2%と高い満足度をいただいているため。 ・Ⅰ4(1)指定業務・・・3年振りに「市民音楽祭～第九コンサート」を開催し、市民による合唱の場を提供し、945名の方を集めることに成功したため。また、トレーニング室のプログラムについても利用の促進に向けて積極的に創意工夫し実施したため。 Ⅱ4(2)自主事業・・・上記総評にも記載の通り、市内の学生達がコロナ禍後の活動を後押しできるようなスポーツおよび文化事業など質の高い事業をおこなったため。
	施設所管課の評価	協定の基準を遵守し、良好な管理運営を行っている。 施設の管理・運営については、適宜必要な修繕を実施していたほか、本年度もトイレ洋式化に取り組むなど利用者の利便性向上への取り組みがみられた。また、昨年度に引き続き暗闇ズンバや運動プログラムの企画・運営によりトレーニング室の利用者が増加するなどの成果が出ている。しかしながら、利用件数はコロナ禍以前の7割程度にとどまっており、引き続き利用者数の回復に向けた取り組みが求められる。 各種事業の実施については、市内小中学生のコロナ禍後における活動の後押しとして、東京オリンピックで銀メダルを獲得したバスケットボール女子日本代表チームのキャプテンである高田真希選手、北京・ロンドン・リオデジャネイロオリンピック日本代表であり、100m、200m日本記録保持者である元陸上競技選手の福島千里氏、アテネ・北京オリンピック日本代表の元バドミントン選手である大東忠司氏が監督として率いる関東の強豪日本体育大学バドミントン部といった、名だたる方々によるアウトリーチ事業やワークショップを実施し、当市の中小学生への稀有な機会の提供及びスポーツの振興に寄与した。また、これまでに無い新たな事業として、ダンスをテーマとした「幸手DANCEDAY(さってだんすでい)」を開催するなど、魅力ある自主事業の実施に努めたことを評価したい。
総合評価	区分	A
	特記事項	

様式3 指定管理業務 事業評価書（市及び指定管理者作成）

令和4年度 指定管理業務 事業評価書

施設名	幸手市立武道館
施設所管課	教育委員会 社会教育課
指定管理者名	NEM/NTTファシリティーズ共同事業体
指定期間	平成31年4月1日 ～ 令和6年3月31日（4年目）

評価項目		評価基準	自己評価	所管課評価
I 履行の 確認	1 施設全般管理運営に関する業務			
	(1)職員体制	基準に基づき、適正な人員配置がなされたか	3	3
	(2)職員研修	業務に必要な研修・教育が適切に行われたか	3	3
	(3)利用の促進	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか	4	3
	2 施設利用に関する業務			
	(1)利用状況	利用者数・稼働率等は、適正な水準であるか ※1	3	3
	(2)利用料金	利用料金の設定、徴収・減免・還付の手続きは適切であるか	3	3
	3 保守点検並びに清掃等業務等			
	(1)保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか	3	3
	(2)清掃・維持管理業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理業務が適切に行われたか	3	3
	(3)保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか	3	3
	(4)修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか	3	3
	4 事業の実施に関する業務			
	(1)指定業務	基準に基づく指定業務が適切に行われたか	3	3
	(2)自主事業	基準に基づく自主事業が適切に行われたか	4	4
	5 個人情報の取扱い	個人情報の取扱いが適正に行われたか	3	3
	6 管理目標	設定目標に対する結果は妥当であるか ※2	3	3
	7 緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されているか 緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っているか	3	3
	8 その他			
	(1)記録管理	業務日誌や点検・修繕等の履歴を適切に整備・保管しているか	3	3
	(2)経理	経理処理が適切に行われたか	3	3
	(3)意思疎通	市や関係機関との連携が適正に行われているか	3	3

評価項目		評価基準	自己評価	所管課評価
Ⅱサービスの質の評価	1 利用者満足度	利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか	3	3
	2 維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理は適正であるか 備品などの設備の維持管理は適正であるか	3	3
	3 運営業務	備品の貸出状況や消耗品等の補充状況は適切であるか 利用許可など利用者への接客対応は適切であるか	3	3
	4 指定事業・自主事業			
	(1) 指定事業	実施された事業内容は、質の高いものであったか	3	3
	(2) 自主事業	実施された事業内容は、質の高いものであったか	3	3

評価項目		評価基準	自己評価	所管課評価
Ⅲ安定性の評価	1 事業収支	事業収支は妥当であるか ※3	3	3
	2 経営状況分析指標	経営状況分析指標の結果は妥当であるか ※4	3	3
	3 団体等の経営状況	団体等の経営状況分析指標の結果は妥当であるか ※5	3	3
合計得点		I・Ⅱ・Ⅲの評価点数の合計(得点/満点)	77 100	76 100

総括	指定管理者の自己評価	○総評 令和4年度は1年を通して、新型コロナウイルス感染症の影響による利用制限を受けない形で運営となったため、コロナ禍により落ち込んだ利用の回復に向けて運営に取り組んだ。 利用状況について、利用人数は28,945人で対前年差2,779人増加した。利用料金は1,699,900円で対前年差24,500円減少した。要因として、2月の畳入替による柔道場の貸出中止と剣道で活動する団体が減免となったことが上げられる。支出については、本施設でも光熱費高騰の影響を受け前年差181,934円の増加となった。 こうした結果、収支は総収入が8,824,508円となり、総支出は9,640,697円となり816,189円の損失を計上した。 施設管理業務においては、階段からの転落事故を受けた際には速やかに手摺を設置することで、お客様が安全・安心・快適に施設を利用できるよう、取り組んだ。植栽管理業務においては、職員及び本施設での活動団体(弓道連盟)と協働して、植栽管理にもつとめ施設の美観維持に努めた。 ・事業面においては、教室事業として本年度も幸手市武道団体連絡協議会(=以下、武連協)加盟団体を中心に本施設で活動する団体・利用者の方にご協力いただき、事業を開催した。武道教室としては、柔道・剣道・空手・太極拳・居合道・なぎなた、中国武術の7種の入門武道教室を開催し178名の方に参加いただいた。リフレッシュ体操教室やキックボクシング教室、護身格闘術、スポーツ吹き矢体験教室といったリフレッシュ系事業を4教室開催し82名の方に参加いただいた。いずれの教室も参加費は500円のワンコインで気軽に参加できる金額とした。 イベント事業としては、7月～8月の夏休み期間にかけて無料で武道体験ができるチャレンジ武道を開催し市内の小学生を中心に135名の方にご参加いただいた。また、10月には武道館祭りを開催した。活動団体の日頃の稽古披露の場と同時に武道(館)をまだ知らない方に参加いただき武道(館)への関心を高めていただく機会とした。参加者は248名で、ファミリー世代を中心にご来館いただいたほか、本イベントをきっかけに初めて武道館に来館される方も多く、翌月に実施した柔道体験教室や剣道体験教室へ参加につながった。武道振興への成果を果たせた。 ○自己評価4の理由 I 1(3)、I 4(2)・・・武連協と協力し武道系自主事業教室を7種9教室及び武道イベントを2種開催することで本施設で活動する武道団体を市内・広域に積極的にPRすることにより団体への参加者を増やすことで、積極的な利用促進を行い、本年度は教室経由で178名の方に参加いただいたことで幸手市における武道振興に寄与したこと。
	施設所管課の評価	協定の基準を遵守し、良好な管理運営を行っている。 施設の管理・運営については、適宜必要な修繕を実施していたほか、照明のLED化を行うなど、管理面において利用者の利便性向上への取り組みがみられた。 また、運営面では、事業計画の2倍以上の事業数を実施し、武道団体連絡協議会との連携により団体から無償にて講師の派遣を受け、多くの武道体験教室等を安価で開催するなど、利用促進に向けた取り組みがみられたことは評価したい。

総合評価	区分	A
	特記事項	

様式3 指定管理業務 事業評価書（市及び指定管理者作成）

令和4年度 指定管理業務 事業評価書

施設名	幸手市コミュニティセンター
施設所管課	市民生活部 市民協働課 （内線 173 ）
指定管理者名	NEM/NTTファシリティーズ共同事業体
指定期間	平成 31 年 4 月 1 日 ～ 令和 6 年 3 月 31 日 （ 4 年目）

評価項目		評価基準	自己評価	所管課評価
I 履行の 確認	1 施設全般管理運営に関する業務			
	(1) 職員体制	基準に基づき、適正な人員配置がなされたか	3	3
	(2) 職員研修	業務に必要な研修・教育が適切に行われたか	3	3
	(3) 利用の促進	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか	3	3
	2 施設利用に関する業務			
	(1) 利用状況	利用者数・稼働率等は、適正な水準であるか ※1	3	3
	(2) 利用料金	利用料金の設定、徴収・減免・還付の手続きは適切であるか	3	3
	3 保守点検並びに清掃等業務等			
	(1) 保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか	3	3
	(2) 清掃・維持管理業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理業務が適切に行われたか	3	3
	(3) 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか	3	3
	(4) 修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか	3	3
	4 事業の実施に関する業務			
	(1) 指定業務	基準に基づく指定業務が適切に行われたか	4	3
	(2) 自主事業	基準に基づく自主事業が適切に行われたか	3	3
	5 個人情報の取扱い	個人情報の取り扱いが適正に行われたか	3	3
	6 管理目標	設定目標に対する結果は妥当であるか ※2	3	3
	7 緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されているか 緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っているか	3	3
	8 その他			
	(1) 記録管理	業務日誌や点検・修繕等の履歴を適切に整備・保管しているか	3	3
	(2) 経理	経理処理が適切に行われたか	3	3
	(3) 意思疎通	市や関係機関との連携が適正に行われているか	3	3

評価項目		評価基準	自己評価	所管課評価
Ⅱサービスの質の評価	1 利用者満足度	利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか	4	4
	2 維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理は適正であるか 備品などの設備の維持管理は適正であるか	3	3
	3 運営業務	備品の貸出状況や消耗品等の補充状況は適切であるか 利用許可など利用者への接客対応は適切であるか	3	3
	4 指定事業・自主事業			
	(1) 指定事業	実施された事業内容は、質の高いものであったか	4	3
	(2) 自主事業	実施された事業内容は、質の高いものであったか	3	3

評価項目		評価基準	自己評価	所管課評価
Ⅲ評価安定性のスコア	1 事業収支	事業収支は妥当であるか ※3	3	3
	2 経営状況分析指標	経営状況分析指標の結果は妥当であるか ※4	3	3
	3 団体等の経営状況	団体等の経営状況分析指標の結果は妥当であるか ※5	3	3
合計得点		I・Ⅱ・Ⅲの評価点数の合計（得点／満点）	78 100	76 100

総括	指定管理者の自己評価	令和4年度は1年を通して、新型コロナウイルス感染症の影響による利用制限を受けない形での運営となり、コロナ禍により落ち込んだ利用の回復に向けた年となった。 利用状況については、34,722人となり前年度より3,197人の増加となった。利用料金については、2,419,320円となり前年度より81,910円の増加となり、利用料金収入の計画からみても利用状況はほぼ回復している状態にあると考えられる。一方、自主事業収入については前年より716,970円増加しているものの、当初計画からは乖離している。支出については、世界的な物価変動に伴う光熱費の上昇により4,434,375円となり、前年度より1,711,878円の増加となり支出を圧迫した。 こうした結果、令和4年度の収支は総収入が17,556,735円となり、総支出は19,411,280円となり、1,854,545円の損失を計上した。 施設管理業務においては、修繕としてミーティング室と会議室などのLED化や各部屋への網戸設置をおこなったほか、武道館での階段からの転落事故を受けた際には速やかに手摺を設置することで、お客様が安全・安心・快適に施設を利用できるよう、取り組んだ。 自主事業においては、高齢者を対象としたスマホやPCなどのICT機器を利用したスマホ教室やパソコン教室を引き続き開催し、延べ1,724名の方にご参加いただいた。 次年度への取組について、令和5年度は新型コロナウイルス感染症の影響がより少なくなると考えられる。利用状況が回復する中で、利用者アンケートから多様な事業の開催を求めていることがわかる。次年度は、コロナ禍で制限していた新たな事業の開催も行うことで、幸手市民のコミュニティ活動に一層寄与していきたい。 事業評価4の理由について。自己評価4を付けた箇所は、I 履行の確認の4業務の実施に関する業務内の(1)指定業務とⅡサービスの質の評価の1利用者満足度と4指定事業・自主事業内の(1)指定事業の計3つ。 指定業務と指定事業の評価対象は、本施設では運営・管理面に対する評価とすることから、どちらも4を付けさせていただいた。理由としては、運営面においては本年度も新型コロナウイルス感染防止対策を実施しながら、予約管理や事務手続きなどミスなく確実に実施したこと。更なる運営面の向上を目指して、新たな研修として館長及び本社担当者を対象としたパワハラ研修も実施した。また、利用者および利用団体へのサービス向上として本年度も引き続きロビーを使って、写真や絵手紙など本施設で活動するサークルの作品を定期的に実施することで、ロビーの活性化とサークルの活動の後押しを行ったことや、近隣住民の方と協働で敷地内の花壇整備を行ったため。 管理面においては、特に修繕業務において保守点検にて指摘された事項だけでなく、利用の方がより快適に利用することが出来るかという視点からも考え、ミーティング室や会議室のLED化、コピー室への棚の設置(修繕)を、館内カーテン洗濯、網戸設置、トイレ照明改修工事を行った。実施に当たっては、自社で行えることは自社で行うことで経費縮減を図り、突発的に発生する専門業者でないと対応できない修繕にも予算上対応できる運営を行ったため。 利用者満足度については、アンケートについては、数値として総合満足度96.9%と高い満足度を頂いているため4を付けさせていただいた。	
	施設所管課の評価	長期化するコロナ禍においても感染拡大防止に配慮をしつつ、適切な施設の運営が行われていました。昨年度より継続して実施されているロビーでの活動サークルの作品展示は施設内の活性化及びサークルへの活動の後押しに寄与していると思われます。 また、トイレ照明改修工事や網戸の設置といった施設利用者の目線に立った管理上での配慮がなされており、利用者の満足度の向上に繋がっていることがアンケート結果にも反映されています。 令和5年度も引き続き、施設の利用者や活動サークルにとって快適な利用が出来るように努めていたきたいと思います。	

総合評価	区 分	A
	特記事項	

様式3 指定管理業務 事業評価書（市及び指定管理者作成）

令和4年度 指定管理業務 事業評価書

施設名	幸手総合公園外6公園
施設所管課	建設経済部 都市計画課 教育委員会 社会教育課
指定管理者名	幸手ハビネスクリエーション共同事業体 代表団体 シンコースポーツ株式会社
指定期間	平成31年4月1日 ～ 令和6年3月31日（4年目）

評価項目		評価基準	自己評価	所管課評価
I 履行の 確認	1 施設全般管理運営に関する業務			
	(1)職員体制	基準に基づき、適正な人員配置がなされたか	3	3
	(2)職員研修	業務に必要な研修・教育が適切に行われたか	3	3
	(3)利用の促進	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか	4	3
	2 施設利用に関する業務			
	(1)利用状況	利用者数・稼働率等は、適正な水準であるか ※1	3	3
	(2)利用料金	利用料金の設定、徴収・減免・還付の手続きは適切であるか	3	3
	3 保守点検並びに清掃等業務等			
	(1)保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか	3	3
	(2)清掃・維持管理業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理業務が適切に行われたか	3	3
	(3)保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか	3	3
	(4)修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか	4	3
	4 事業の実施に関する業務			
	(1)指定事業	基準に基づく指定事業が適切に行われたか	3	3
	(2)自主事業	基準に基づく自主事業が適切に行われたか	4	3
	5 個人情報の取扱い	個人情報の取り扱いが適正に行われたか	3	3
	6 管理目標	設定目標に対する結果は妥当であるか ※2	3	3
	7 緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されているか 緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っているか	3	3
	8 その他			
	(1)記録管理	業務日誌や点検・修繕等の履歴を適切に整備・保管しているか	3	3
	(2)経理	経理処理が適切に行われたか	3	3
	(3)意思疎通	市や関係機関との連携が適正に行われているか	3	3

評価項目		評価基準	自己評価	所管課評価
Ⅱ サービスの質の評価	1 利用者満足度	利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか	3	3
	2 維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理は適正であるか 備品などの設備の維持管理は適正であるか	3	3
	3 運営業務	備品の貸出状況や消耗品等の補充状況は適切であるか 利用許可など利用者への接客対応は適切であるか	3	3
	4 指定事業・自主事業			
	(1) 指定事業	実施された事業内容は、質の高いものであったか	3	3
	(2) 自主事業	実施された事業内容は、質の高いものであったか	4	4

評価項目		評価基準	自己評価	所管課評価
Ⅲ 評価安定性の評価	1 事業収支	事業収支は妥当であるか ※3	3	3
	2 経営状況分析指標	経営状況分析指標の結果は妥当であるか ※4	3	3
	3 団体等の経営状況	団体等の経営状況分析指標の結果は妥当であるか ※5	3	3
合計得点		Ⅰ・Ⅱ・Ⅲの評価点数の合計(得点/満点)	79 100	76 100

総 括	指定管理者の自己評価	今年度は、Withコロナということもあり、感染対策を行いながらも昨年度を大きく上回る自主事業を実施することができました。特にイベントでは、教育委員会の後援を頂き、幸手市内の小学校や幼稚園にチラシを配布し、さつてBG塾やBGで遊ぼう、巨大ゲーム、キッズ体操など幸手市内の子どもたちに学習や体験をたくさん経験して頂けたことがとても良かったと思います。上記以外にもカブトムシ探検隊やシンコー杯サッカー大会、夏祭り、ハロウィンイベント、キッズスペース、謎解きゲームなど子どもたちをメインに自主事業を展開することができました。 ほかにも幸手市のご協力もあり、さっちゃん煎餅やガチャガチャの販売、むさしの村イベントでの幸手市や幸手総合公園のPRもすることができました。 施設運営については、各スポーツ連盟やアンケートを通して、意見を反映できるように努めました。修繕では、幸手総合公園テニスコートと体育館のトイレ洋式化や体育館のカーテンを総入替を行ったこと。物販も利用者が欲しい商品を積極的に取り入れ評判を頂くことができました。 そして今年度も引き続き、B&G財団の評価も4年連続「特A」を取得することができました。評価につながる「さつてBG塾」は、初めての試みでしたが、夏・冬・春と通して試行錯誤しながらもとても良い事業ができたと感じております。 施設維持管理については昨年度から作業実績表の形式を一部の項目を追加することで、園内清掃等のより細かい実績の確認ができるように改善しました。よって、その実績を活かし適切な作業を行うことが出来ました。また、約700mの広範囲の高木剪定をする際に、委託会社と共同作業を実施することで約40万円の費用を抑えることができました。 その他に、昨年と同様に消防訓練やCPR研修、業務研修、企画提案、施設美化など休館日を利用し、全スタッフで行い、運営水準向上に努めました。
	施設所管課の評価	・年間を通して、適切な管理運営を実施できた。 ・B&G財団が開催する事業やイベントに多数参加し、『特A』評価(4年連続)を取得できたことは評価できる。 ・今年度は、電気代や物価の高騰により、収支はマイナスであったが、自主事業において、多種多様なイベントを適宜開催し、施設利用に繋げる努力をしたことは評価する。

総合評価	区 分	A
	特記事項	

様式3 指定管理業務 事業評価書（市及び指定管理者作成）

令和4年度 指定管理業務 事業評価書

施設名	幸手市平須賀南公園外4公園
施設所管課	建設経済部 都市計画課
指定管理者名	パークマネジメント3 代表団体 株式会社日本ウォーターテックス
指定期間	平成31年4月1日 ～ 令和6年3月31日（4年目）

評価項目		評価基準	自己評価	所管課評価
I 履行の 確認	1 施設全般管理運営に関する業務			
	(1)職員体制	基準に基づき、適正な人員配置がなされたか	3	3
	(2)職員研修	業務に必要な研修・教育が適切に行われたか	3	3
	(3)利用の促進	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか	3	3
	2 施設利用に関する業務			
	(1)利用状況	利用者数・稼働率等は、適正な水準であるか ※1	3	3
	(2)利用料金	利用料金の設定、徴収・減免・還付の手続きは適切であるか	3	3
	3 保守点検並びに清掃等業務等			
	(1)保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか	3	3
	(2)清掃・維持管理業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理業務が適切に行われたか	4	4
	(3)保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか	3	3
	(4)修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか	4	3
	4 事業の実施に関する業務			
	(1)指定事業	基準に基づく指定事業が適切に行われたか	3	3
	(2)自主事業	基準に基づく自主事業が適切に行われたか	3	3
	5 個人情報の取扱い	個人情報の取り扱いが適正に行われたか	3	3
	6 管理目標	設定目標に対する結果は妥当であるか ※2	3	3
	7 緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されているか 緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っているか	3	3
	8 その他			
	(1)記録管理	業務日誌や点検・修繕等の履歴を適切に整備・保管しているか	3	3
	(2)経理	経理処理が適切に行われたか	3	3
	(3)意思疎通	市や関係機関との連携が適正に行われているか	3	3

評価項目		評価基準	自己評価	所管課評価
Ⅱ サービスの質の評価	1 利用者満足度	利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか	3	3
	2 維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理は適正であるか 備品などの設備の維持管理は適正であるか	4	4
	3 運営業務	備品の貸出状況や消耗品等の補充状況は適切であるか 利用許可など利用者への接客対応は適切であるか	3	3
	4 指定事業・自主事業			
	(1) 指定事業	実施された事業内容は、質の高いものであったか	3	3
	(2) 自主事業	実施された事業内容は、質の高いものであったか	4	4

評価項目		評価基準	自己評価	所管課評価
Ⅲ 安定性の評価	1 事業収支	事業収支は妥当であるか ※3	3	3
	2 経営状況分析指標	経営状況分析指標の結果は妥当であるか ※4	3	3
	3 団体等の経営状況	団体等の経営状況分析指標の結果は妥当であるか ※5	3	3
合計得点		I・Ⅱ・Ⅲの評価点数の合計(得点/満点)	79 100	78 100

総括	指定管理者の自己評価	◎全体的な指定管理業務は計画どおり実施できた。収入については施設使用料や自主事業収入は前年を上回った。 ・支出については、再委託及び簡易的な修繕は指定管理者で行い、経費を抑える事ができた。 ・受付～巡回清掃及び維持管理全般は計画どおり進め、仕様書以上の回数を実施した。 ・環境への配慮・コスト削減として、千塚西・高須賀池・平須賀南・神扇のトイレ照明・管理事務所等の全て照明をLED化した。 ・電気料金の高騰が目立ったが、3年度に千塚西公園の全街路灯をLED化した事によって費用を抑える事ができた。 ・指定管理者の支出により、利用者の声、地域貢献の一環として幸手市初のインクルーシブ遊具を平須賀南公園に設置した。
	施設所管課の評価	・年間を通して、適切な管理運営を実施できた。 ・特に各公園の巡回点検、樹木剪定、及び除草業務等は、仕様書に示した回数以上をこなし、維持管理業務に努めたことは評価できる。 また、利用者アンケートでも「ゴミがなく、綺麗。芝の手入れが行き届いている。」など、複数の声が見受けられることから、日常の維持管理業務の成果が出ていると判断できる。 ・幸手市で初のインクルーシブ遊具を設置し、公園の認知度向上に繋がったことは評価できる。 併せて、利用者からの遊具増設要望に応えたことも評価できる。

総合評価	区 分	S
	特記事項	